

都市消防委員会
説明資料

令和7年3月14日

消防局

目 次

	頁
1 消防職員採用試験の実施状況について……………	1
2 戸別訪問による防災用品を活用した地域防災力向上促進事業について…………	2
(1) 実施結果……………	2
(2) 実施を踏まえた主な課題……………	2
3 防火管理講習等の実施回数について……………	3
4 主な政令指定都市等の入電から医療機関収容までの平均所要時間について…	4
5 公共安全モバイルシステムの概要について……………	4
(1) 通信上のメリット……………	4
(2) 主な機能……………	5
6 主な政令指定都市における消防署等に設置する給油取扱所の状況について…	5
7 市が整備する消防団車両について……………	6

1 消防職員採用試験の実施状況について

(単位：人)

区 分	受 験 者 数	次 年 度 採 用 者 数
平成27年度	737	49 (0)
平成28年度	781	71 (3)
平成29年度	861	97 (4)
平成30年度	726	43 (0)
令和元年度	656	78 (1)
令和2年度	692	115 (11)
令和3年度	666	93 (10)
令和4年度	539	70 (3)
令和5年度	588	145 (10)
令和6年度	552	139 (13)

注1 次年度採用者数欄の()内の数値は、女性の人数を内数で示す。

2 令和6年度の次年度採用者数は、見込みの数値を示す。

2 戸別訪問による防災用品を活用した地域防災力向上促進事業について

(1) 実施結果

区分	対象世帯数 (世帯)	回答世帯数 (世帯)	防災用品配付前における 寝室の家具転倒防止対策 実施率 (A) (%)	防災用品配付後における 寝室の家具転倒防止対策 実施率 (B) (%)	実施率の差 (B-A)
令和元年度	52,099	28,855 (55.4%)	61.1	85.3	24.2
令和2年度	—	—	—	—	—
令和3年度	216,410	114,854 (53.1%)	73.6	90.0	16.4
令和4年度	294,932	152,806 (51.8%)	75.8	90.0	14.2
令和5年度	299,355	143,952 (48.1%)	78.8	91.5	12.7
令和6年度	275,684	129,412 (46.9%)	79.2	90.3	11.1
合計	1,138,480	569,879 (50.1%)	76.1	90.2	14.1

注1 対象世帯数は、各年度とも4月1日現在の数値を示す。

2 令和6年度の対象世帯数を除く各欄は、令和7年1月31日現在の数値を示す。

3 回答世帯数欄の()内の数値は、対象世帯数に対する割合を示す。

4 寝室の家具転倒防止対策実施率は、回答世帯数に対する割合を示す。

5 防災用品配付後における寝室の家具転倒防止対策実施率は、対策を実施する意向がある世帯を含めた割合を示す。

(2) 実施を踏まえた主な課題

- ・ 回答率が低い単身世帯及び共同住宅に居住する世帯への啓発
- ・ 自主防災活動などの共助の取組みの推進

3 防火管理講習等の実施回数について

(単位：回)

区 分	令和6年度	令和7年度	
	対 面	対 面	オンライン
甲種防火管理新規講習	13	11	2
乙種防火管理講習	7	6	1
防災管理新規講習	3	2	1
甲種防火管理新規講習 及び防災管理新規講習 を併せて実施する講習	8	6	2
甲種防火管理再講習	11	10	1
防災管理再講習	3	2	1
甲種防火管理再講習 及び防災管理再講習 を併せて実施する講習	4	3	1
合 計	49	40	9

注 令和7年度の数値は、実施予定回数を示す。

4 主な政令指定都市等の入電から医療機関収容までの平均所要時間
について

(単位：分)

区 分	令和2年中	令和3年中	令和4年中	令和5年中	令和6年中
名古屋	31.4	32.6	35.5	34.5	33.9
京都	31.4	33.6	36.9	35.0	32.4
大阪	36.4	41.1	49.9	42.7	集計中
神戸	36.8	39.3	41.4	41.0	39.9
東京消防庁	51.0	55.6	67.0	64.3	58.4

5 公共安全モバイルシステムの概要について

(1) 通信上のメリット

区 分	内 容
専用基幹網	一般携帯電話網から独立したデータ通信専用網により、災害時の輻輳の影響を受けにくい。
マルチキャリア回線	複数の携帯通信事業者の回線に接続可能であり、通信障害時に回線を選択して利用できる。

(2) 主な機能

- ・ 撮影した映像を伝送し共有する機能
- ・ 消防部隊等の位置を把握する機能
- ・ 拠点と消防部隊間等で会議をする機能
- ・ 音声を文字に変換し記録する機能

6 主な政令指定都市における消防署等に設置する給油取扱所の状況について

令和7. 3. 1現在

区 分	施 設 数	設 置 場 所	最 大 貯 蔵 量 (リットル)	
			ガソリン	軽 油
名 古 屋	18	消 防 署 (16)	79,100	92,600
		本 部 機 動 部 隊 (2)		
横 浜	5	消 防 署 (2)	100,000	150,000
		出 張 所 (2)		
		消 防 訓 練 セ ン タ ー (1)		
京 都	13	消 防 署 (10)	80,000	105,000
		消 防 分 署 (1)		
		消 防 活 動 総 合 セ ン タ ー (1)		
		消 防 ヘ リ ポ ー ト (1)		
大 阪	15	消 防 署 (15)	75,000	85,000
神 戸	2	消 防 署 (1)	10,000	10,000
		市 民 防 災 総 合 セ ン タ ー (1)		

注 設置場所欄の()内の数値は、給油取扱所の施設数の内数を示す。

7 市が整備する消防団車両について

区	分	主 な 特 徴
トラックタイプ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 資機材の取出し及び収納が容易なため、迅速な活動が可能 ・ 広い積載スペース
ワゴンタイプ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高い防犯性 ・ 屋外保管が可能 ・ 広い積載スペース
軽自動車タイプ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 機動性が高いため、狭隘道路での走行が可能 ・ 高い防犯性 ・ 屋外保管が可能

注 軽自動車タイプは、導入予定の車両のイメージを示す。